

赤谷森林環境 平成24年度
保全ふれあいセンター
活動報告

資料編

平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンターのイベント等実績表

平成24年度末

年月日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類番号	備考
平成24年6月2日	高原千葉村 草野中学校体験学習	森の贈り物ってどんなもの？	みなかみ町高原千葉村	高原千葉村	10			
平成24年7月23日	新治小学校サマースクール	自然観察オリエンテーリング	みなかみ町高原千葉村	新治小学校	55			
平成24年8月22日	夏休み親子ふるさと体験	水生生物観察会	みなかみ町相保 猿ヶ京アカデミー外	利根川水系上下交流事業実行委員会	78			
平成24年9月25日	新治小学校遠足	旧三国街道遠足(センサーカメラの設置)	みなかみ町旧三国街道	新治小学校	65			
平成24年10月4日	沼田北小学校森林環境学習	森の探検ウォークラリー	みなかみ町高原千葉村	沼田北小学校	50			
平成24年11月15日	高原千葉村 大椎中学校体験学習	生態系サービス(自然の恵み)を探そう!	みなかみ町高原千葉村	高原千葉村	28			
平成24年12月4日	新治小学校遠足事後学習	旧三国街道遠足 事後学習(センサーカメラの設置結果等)	新治小学校	新治小学校	65			
				計	351			
平成24年5月14日	平成24年度 森林生態系スペシャリスト養成研修	赤谷プロジェクトの取組を例にし、赤谷の森内において、森林生態系の知見を有する職員の養成等を目的。5/14～18日(5日間)	いきもの村外	関東森林管理局	8			
平成24年5月26日	放送大学面接授業	赤谷プロジェクトの内容とその意義(廣橋所長講義)	沼田市立図書館	放送大学群馬学習センター	9			
平成24年7月26日	平成24年度 群馬総合教育センター研修講座	環境教育研修講座:環境教育を実践するための指導力の向上を図ることを目的。	いきもの村外	平成24年度群馬県総合教育センター	15			
平成24年9月5日	高崎経済大学ゼミナール	観光政策研究に関わるゼミナール活動	いきもの村 旧三国街道	高崎経済大学	11			
平成24年10月17日	平成24年度 生物多様性保全研修	赤谷森林環境保全ふれあいセンターの取組(現地実習・講義)の講師依頼(参考:10/15～19日)赤谷担当:10/17	茂倉沢2号ダム外	森林技術総合研修所	18			
平成24年11月14日	環境省自然保護官等研修	赤谷プロジェクトの概要説明。地域におけるコーディネート事例(廣橋所長講義)	環境省環境調査研修所	赤谷ふれあいセンター	21			
平成24年11月27日	平成24年度(国別研修) ブラジル生物多様性保全研修(JICA)	赤谷プロジェクトの現状と課題～国有林における生物多様性の取組～	いきもの村 たくみの里 南ヶ谷湿地	国際協力機構東京国際センター	5			
				計	87			
平成24年4月29日	敷島公園まつり・グリーンフェア2012	指導普及課のブース内に赤谷プロジェクトのパネルを展示	群馬県前橋市 敷島公園	関東森林管理局	-	12,000		
平成24年5月27日	赤谷の森 自然散策	赤谷の森の自然や環境のことを学べる機会として、赤谷の森自然散策を実施(ガイド:長浜洋介)	小出俣林道	赤谷ふれあいセンター	7			
平成24年5月28日	旧三国街道マップづくり学習会～第1回～	旧三国街道の魅力を各人が自分の言葉で解説できるようにすることと案内用のベースマップの確認及び改良点等の抽出を目的に開催	旧三国街道	赤谷プロジェクト	30			
平成24年6月10日	旧三国街道モニターツアー	「旧三国街道マップづくり」に一般の方の意見を反映する機会としてのモニターツアー	旧三国街道	赤谷プロジェクト	9			
平成24年7月18日	旧三国街道マップづくり学習会～第2回～	第2回旧三国街道現地学習会は、地域協議会阿部利夫氏の案内で、ベースマップに新たに見つけた観察ポイントを探して行くことを目的に開催	旧三国街道	赤谷プロジェクト	13			
平成24年8月11日	赤城ふれあいの森まつり	関東森林管理局指導普及課のブース内に赤谷プロジェクトのパネルを展示	群馬県立赤城ふれあいの森	関東森林管理局		1,700		
平成24年8月26日	21世紀の森フェスティバル	利根沼田森林管理署のブース内に赤谷プロジェクトのパネルを展示。秋の自然散策のチラシ配布。赤谷職員1名派遣	「21世紀の森」(沼田市・川場村)	利根沼田森林管理署	-	5,000		
平成24年9月12日	旧三国街道マップづくり学習会～第3回～	第3回学習会は、植生管理WG座長の亀山先生の指導のもと、ベースマップに目印となる巨樹・巨木などの樹高や胸高直径など計測しながら情報収集を実施	旧三国街道	赤谷プロジェクト	6			

年月日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類番号	備考
平成24年10月1日	AKAYAプロジェクト現地説明会	第1回 現地説明会～自然林復元に向けた取組	小出俣試験地外	赤谷プロジェクト	20			
平成24年10月7日	自然林復元100年モニタリング	自然林復元試験地の経年モニタリング	小出俣他	NACS-J	6			
平成24年10月16日	「オンパク」サル追跡&サルウォッチングin猿ヶ京	発信機をつけたニホンザルの追跡しながら、ニホンザルの生態や獣害対策について学ぶ	法師～合瀬エリア	町観光協会	20			
平成24年10月20日	旧三国街道モニターツアー	「旧三国街道マップづくり」に一般の方の意見を反映する機会としてのモニターツアーを実施	旧三国街道	赤谷プロジェクト	15			
平成24年10月28日	赤谷の森 自然散策	赤谷の森の自然や環境のことを学べる機会として、赤谷の森自然散策を実施(ガイド:長浜洋介)	小出俣林道	赤谷ふれあいセンター	17			
平成24年11月3日	オープン記念イベント「赤谷プロジェクトを知ろう！」	たくみの里に赤谷プロジェクトのPRブースを設置、そのオープンセレモニーを開催	みなかみ町 たくみの里	赤谷ふれあいセンター	100	2,800		
平成24年11月10日	第36回 全国育樹祭	伊豆森林管理署のブース内に赤谷プロジェクトのパネル展示及びロケットリーフ体験亦せ職員1名派遣	静岡県伊豆市	国土緑化推進機構・静岡県	200	3,000		
平成24年11月26日	AKAYAプロジェクト現地説明会	第2回 現地説明会～自然林復元に向けた取組	川古温泉～茂倉沢2号ダム	赤谷プロジェクト	25			
平成25年1月27日	赤谷プロジェクト活動報告会	一般向けの赤谷プロジェクト活動報告会 基調講演と活動報告と意見交換会	町役場新治支所	赤谷プロジェクト	43			
平成25年2月2日	北毛初！100のしあわせプロジェクト	北毛に多く在る、地域の為に活動を行っている人や団体、それらの活動を知り出合い交流できる、新たなきっかけの場として開催	昭和村公民館	群馬県・利根沼田地域ボランティアセンター「100のしあわせプロジェクト」実行委員会	55	700		ヒノキの球果ストラップ・森のかげらストラップづくり
平成25年2月17日	赤谷の森 自然散策	赤谷の森の自然や環境のことを学べる機会として、赤谷の森自然散策を実施(冬芽講師:長島成和)	猿ヶ京スポーツアカデミー・いきもの村	赤谷ふれあいセンター	17			スノーシューでアニマルトラッキング
平成25年2月26日	業務林業技術等発表会	赤谷センターにおける、広報活動の問題点と効果的なPR活動を行うために「広報戦略企画書」を作成した取組みの中間成果発表	前橋テルサ	関東森林管理局	200	200		
平成25年3月4日	南魚沼「みんなの力で地域の自然力・魅力アップシンポジウム」	南魚沼地域で環境や自然を守る活動や地域づくり等に取り組む関係者が連携して地域振興につなげる方法を考えようと開催	南魚沼市浦佐	新潟県南南魚沼	160			
平成25年3月10日	尾瀬・奥利根地域の自然を考える定期シンポジウム	第2回・シンポジウム～「奥利根とは、どこからどこまでか？考える手がかりと現代の便利な道具たち」のテーマで、奥利根自然センター主催	みなかみ町カルチャーセンター大会議室	奥利根自然センター	70			
				計	1,013	25,400		
平成24年7月19日	東京都中野区議みなかみ町視察	みなかみ町と中野区が交流事業を行うことを目的みなかみ町を視察。石川直道(み党)後藤英之(み党)若林しげお(自党)	みなかみ町相俣猿ヶ京アカデミー	みなかみ町まちづくり交流課	6			
平成24年7月31日	早稲田環境塾長(原)+日本環境ジャーナリストの会副会長(高田)のみなかみ町視察	赤谷プロジェクトの取組の広がりや地域振興について意見交換	みなかみ町観光センター	早稲田環境塾	4			
平成24年10月2日	NPO法人 森づくりフォーラム松井常勤理事視察	平成24年度の「市民のための森づくり講座」開催地の候補として視察。10/2～3日(2日間)	いきもの村外	赤谷ふれあいセンター	3			
平成24年10月9日	韓国山林技術士協会視察	「加里王山遺伝資源保護区域保全・復元方法研究」における海外事例調査の一環としての資料収集を目的とした視察	いきもの村外	赤谷ふれあいセンター	6			
平成24年11月30日	21世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト推進会議作業部会視察	赤谷プロジェクトを先進事例として、プロジェクトの仕組み・協定締結までの進め方・地域振興策等について、意見交換	いきもの村外	アイヌプロジェクト	13			
	官公庁関係者視察	視察回数5回/視察者同行者数26名			26			
				計	58			
平成24年5月5日	NIKONエクスカーション	(株)ニコンのCSR活動である国連子環境ポスター原画コンテストのエクスカーションを開催	いきもの村周辺	ニコン	10			
平成24年9月8日	ブナ・ミズナラの芽生えを探そう！	小出俣自然林復元試験地の参加型モニタリング、湘南学園の継続モニタリング調査	小出俣	日本自然保護協会	5			
平成24年9月22日	日本環境ジャーナリスト	「生態系サービスをどう伝えるかの研究」取材	小出俣～茂倉沢	環境ジャーナリストの会	2			
平成24年10月20日	(株)ニコン社員ツアー	AKAYAプロジェクトが復元に取り組んでいる「恵みの豊かな森」とはどのような森なのか？豊かな森の持つ恵みやそれを維持管理するための取り組みについて	旧三国街道	赤谷プロジェクト	40			

年月日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	分類番号	備考
平成24年11月17日	資生堂CSR活動	資生堂の社会貢献活動の一環で、「赤谷の日」の作業・調査等を強雨力して活動	赤谷林道・小出俣林道・旧三国街道	赤谷プロジェクト	45			
平成24年12月1日	NACS-J自然観察指導員講習会	NACS-J主催の自然観察会のリーダー養成講座	猿ヶ京周辺	日本自然保護協会	50			
				計	152			
平成24年4月7日	赤谷の日	生物調査・環境整備・備テンモニ講習・湿地調査等・その他打合せ・芽吹き観察	いきもの村外	赤谷プロジェクト	25			
平成24年5月12日	赤谷の日	生物調査・備テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・その他打合せ・旧三国街道マップ素材集め	いきもの村外	赤谷プロジェクト	36			
平成24年6月2日	赤谷の日	環境整備・テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・その他打合せ・シカ柵ネット張り	いきもの村外	赤谷プロジェクト	33			
平成24年7月7日	赤谷の日	生物調査・環境整備・湿地調査等・いきもの村自然観察・旧三国街道マップづくり情報収集	いきもの村外	赤谷プロジェクト	39			
平成24年8月4日	赤谷の日	生物調査・テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・溪流調査体験・南ヶ谷湿地ホテル鑑賞・いきもの村自然観察	いきもの村外	赤谷プロジェクト	38			
平成24年9月1日	赤谷の日	テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・講義：人工管理を学ぶ	いきもの村外	赤谷プロジェクト	26			
平成24年10月6日	赤谷の日	生物調査・環境整備・テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・いきもの村自然観察	いきもの村外	赤谷プロジェクト	21			
平成24年11月3日	赤谷の日	生物調査・テンモニ講習・湿地調査等・豊凶調査・いきもの村自然観察・旧三国街道マップづくり情報収集	いきもの村外	赤谷プロジェクト	16			
平成24年12月1日	赤谷の日	炭窯関係・生物調査・環境整備・湿地調査等・豊凶調査・いきもの村自然観察・落ち葉掻き・薪集め	いきもの村外	赤谷プロジェクト	26			
平成25年1月12日	赤谷の日	炭窯関係・生物調査・環境整備・テンモニ講習・鳥類調査・輪かんじき作り・スノーシュー修理	いきもの村外	赤谷プロジェクト	29			
平成25年2月2日	赤谷の日	炭窯関係・生物調査・環境整備・テンモニ講習・その他打合せ・いきもの村自然観察・赤谷の日改良意見交換会・アニマルトラッキング・輪かんじき作り	いきもの村外	赤谷プロジェクト	20			
平成25年3月2日	赤谷の日	テンモニ講習・アニマルトラッキング・いきもの村自然観察・ムーちゃん大作戦	いきもの村外	赤谷プロジェクト	13			
				計	322			
計					1,983	25,400		

(注意1) イベント及び環境教育等の分類

- ：小中学校(親子含む)を対象とした環境教育(森林教室等)
- ：高校・一般等を対象とした環境教育(研修・セミナー等)
- ：普及啓発活動(赤せて協力したイベントなど)
- ：視察等の受入れ
- ：その他(日本自然保護協会等の関連イベントなど)
- ：赤谷の日

(注2) 「参加人数/予定」は、そのイベントに参加した総人数(概数でも可)、複数日にまたがるイベントは、延べ人数を記載

(注3) 「備考欄」には、特記事項として参加者名・イベント内容の詳細等を記載

赤谷の日活動状況調査表

平成24年度末 現在

年度	サポーター 登録者数	参加者数						開催 延べ日数	サ月平均 参加者数	全月平均 参加者数	主な出来事	主な活動内容						イベント等	
		サポーター	地域協会	赤セ	NACS-J	林野職員	その他					計	炭窯関係	テノモニ	南ヶ谷湿地	豊凶調査	生物調査		環境整備
H16		132	38	56	36	26	2	290	14	9	21	・赤谷プロジェクト協定締結 ・赤谷森林環境保全ふれあいセンター設置						7	いきもの村建物等整備作業(7月)、赤谷の日活動開始(10月)
H17		310	66	74	38	40	58	586	20	16	29	赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目	8	8	0	2	8	4	赤谷の炭焼きを語る会(6月)きのご調査隊(群馬県きのご同好会)(10月) 1、2月中止
H18		282	58	40	52	8	18	458	22	13	21		6	11	0	9	7	6	猛禽類フィールドワーク研修会(7月)、ホンデンモニタリング研修(8月)、 1月中止
H19	44	264	28	30	51	6	6	385	22	12	18	・「2号治山ダム」の撤去を決定 ・サポーター登録制度開始	4	11	7	7	5	7	地域の伝統文化を学ぶ(伐採搬出)(4月)、 3月中止
H20	48	293	42	29	49	0	2	415	22	13	19		1	11	11	8	2	2	赤谷の日講座(山梨森総研・長池)(6月)、赤谷自然文化車座談会(8~3月)、 1月中止
H21	49	346	57	57	64	1	47	572	24	14	24	・「2号治山ダム」の撤去工事完了	2	12	8	8	9	1	赤谷自然文化車座談会(4~3月)
H22	49	359	59	67	59	2	12	558	23	16	24	・赤谷の森管理経営計画書完成(H23年度 H27年度)	5	10	8	8	10	8	赤谷自然文化車座談会(4月)そば打ち(7月)、ヤマビル調査(4~12月)、 1月中止
H23	48	245	38	66	33	9	12	403	22	11	18	・第2期赤谷プロジェクト協定締結 ・南ヶ谷湿地保全管理計画書2011作成	7	11	8	7	8	3	南ヶ谷・テノモニ・豊凶調査、4月中止(地震の影響のため)
H24	51	162	51	32	44	2	31	322	25	6	13	・赤セにおける赤谷プロジェクト広報戦略作成 ・たくみの里赤谷プロジェクトPRブースオープン	3	11	9	7	9	8	人工林管理を学ぶ(9月)赤谷の日改良意見交換(2月)
計		2,231	386	419	382	92	157	3,667	194	12	19		36	85	51	56	58	46	

参加者数は、1日及び半日参加などでも一人としてカウント
参加者数は、赤谷の日活動ペーパーに記載のあった名前をカウント
活動項目は、赤谷の日活動ペーパーから主だった活動選定
生物調査は、ムササビ・コウモリ・蝶・鳥、ヤマビル等
備考欄は、イベント等で、その年度の特徴的な取組を記載
参加者数は、H16 24年度のまでの計

赤谷森林ふれあい推進センター作成

赤谷プロジェクトに関する調査報告書等

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	赤谷プロジェクト自然環境モニタリング基本方針		
平成17年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究		
平成18年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究		
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	赤谷プロジェクト自然環境モニタリング予備調査		
平成17年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 体制整備と試行開始		
平成18年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 活動成果蓄積システムの構築		
平成19年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)		
平成20年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成21年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成22年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成23年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成24年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成17年度	新治地区茂倉沢治山事業全体計画作成調査 調査報告書(平成18年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成20年度	平成20年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成21年3月)(調査計画編)	国土防災技術(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成22年3月)	応用地質(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成22年3月) 別冊(委員会議事録)	応用地質(株)	
平成22年度	平成22年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成23年3月) 報告書	応用地質(株)	
平成23年度	平成23年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成24年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相保三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成24年度	平成24年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成25年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相保三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成5年度	三国高原猿ヶ京森林空間総合利用整備事業に係る森林施業等への影響調査報告書(平成5年6月)	(株)コクド (社)日本林業技術協会	
平成19年度	溪流生態系の保全に資する治山事業のモデル的实施について		関東森林管理局 作成
平成22年度	赤谷プロジェクト 赤谷の森・基本構想(2010年3月) ～生物多様性と社会の持続のために、森のあるべき姿をとりもどす～		赤谷プロジェクト 作成
平成23年度	平成23年度 赤谷プロジェクトエリア内の歩道調査事業報告書	(株)緑化技研	
平成23年度	南ヶ谷湿地保全管理計画 2011		赤谷プロジェクト 作成

赤谷森林環境保全ふれあいセンター活動報告書(年報)

年度	報告書タイトル	作成者	備考
平成18年度	平成18年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	- 赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成19年度	平成19年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	- 赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成20年度	平成20年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	- 赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成21年度	平成21年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫27冊
	- 赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載(PDF版)
平成22年度	平成22年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成23年度	平成23年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)

関東森林管理局広報誌への掲載記事一覧表

号	年	月	掲載タイトル	内 容
1	16	4	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(通称「赤谷プロジェクト」)がスタート	・赤谷プロジェクトの取組の説明(森林施業等・動植物のモニタリング調査・森林環境教育等)
6	16	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2004年度第1回企画運営会議・活動拠点の整備を開始・地域説明会の開催
7	16	10	赤谷プロジェクト近況報告(第2弾)	・植生WG第1回会合を開催・写真コラム「赤谷の森から」の連載スタート!
8	16	11	赤谷プロジェクト近況報告(第3弾)	・「いきもの村」での活動本格化!・「自然観察指導員に学ぶ」
9	16	12	赤谷プロジェクト近況報告	・11月の「いきもの村」・モニタリング検討委員会現地調査を実施・研究者グループ「赤谷の日」を視察
10	17	1	赤谷プロジェクト近況報告	・12月の「赤谷の日」・全国森林環境保全ふれあいセンター担当者、「赤谷の森」に集合
11	17	2	赤谷プロジェクト近況報告	・新春の「赤谷の日」・「いきもの村」での活動成果
12	17	3	猛禽類との共生を目指す取組 ～生物多様性の保全に向けて～ 赤谷プロジェクト近況報告	・指針作成に向けた調査と知見の蓄積・希少野生動植物の生息・生育を守るための委員会の設置・研究機関、自然保護団体等との連携 ・プロジェクトの成果(サポーターの獲得・2月の「赤谷の日」・「環境教育ミーティング」への参画)
13	17	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(合意形成手法の確立・猛禽類などの生態の把握・研究者の関心の獲得)・3月の「赤谷の日」・2004年度第2回企画運営会議を開催・写真コラム「赤谷の森から」連載終了
14	17	5	赤谷プロジェクト近況報告	・平成17年度のプロジェクトエリア内における森林施業予定地で現地検討会を開催・4月の「赤谷の日」
15	17	6	赤谷プロジェクト近況報告	・春を迎えた「赤谷の森」・いきもの村のお披露目の開催
16	17	7	赤谷プロジェクト近況報告	・小学生が体験した環境教育・中学生が体験した環境教育
17	17	8	赤谷プロジェクト近況報告	・様々な調査活動が本格化!・赤谷の日(テン糞隊)
18	17	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2005年度・前期企画運営会議を開催・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
19	17	10	森の価値を伝えて広めていける、新しい動き～企業のCSR活動との連動～ 赤谷プロジェクト近況報告	・CSRと生物多様性保全・現在の日本企業の認識・赤谷プロジェクトにおけるCSR・生物多様性保全をめざしたCSR活動と国有林 ・猛禽類モニタリングWG 2005年度第1回会合の開催
20	17	11	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業全体計画調査
21	17	12	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの相乗効果・高校生が「いきもの村」に
25	18	4	赤谷プロジェクト2005年度・後期 企画運営会議を開催 赤谷プロジェクト近況報告	・後期 企画運営会議を開催 ・千葉市の中学校教員が「いきもの村」で環境教育の模擬体験
27	18	6	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」での炭焼きを紹介
28	18	7	赤谷プロジェクト近況報告	・「自然環境モニタリング会議・植生WG合同現地視察」を開催・6月の「赤谷の日」
29	18	8	赤谷プロジェクト近況報告	・高校生への環境教育・植生WGによるプロット調査の実施
30	18	9	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
31	18	10	赤谷プロジェクト近況報告	・平成18年 第1回企画運営会議を開催・小中学生への環境教育の実施
32	18	11	赤谷プロジェクト近況報告	・植生調査について
33	18	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」の自然散策会を開催・赤谷プロジェクトを多くの方々に見て頂きました
34	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・第2回溪流環境復元WGが開催されました・林野庁業務研究発表会で発表してきました
35	19	2	赤谷プロジェクト近況報告	・地域の方々との猛禽類調査
36	19	3	赤谷プロジェクト近況報告	・梶谷国有林野部長の視察がありました・関東森林管理局業務研究発表会で発表してきました
37	19	4	赤谷プロジェクト19年度の取組み	・プロジェクトの枠組み・具体的な活動
38	19	5	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」にモリゾーキッコロがやってきた・さわやか自然百景・お知らせ(自然散策)
39	19	6	赤谷プロジェクト近況報告	・溪流環境復元WG
40	19	7	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森の自然散策を実施・「赤谷の森」で森林ふれあい実務研修を開催
41	19	8	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回 赤谷の森フォーラム」を開催・植生WG、溪流環境復元WGの現地検討会を開催・利根実業高校生に対する環境教育を実施
42	19	9	赤谷プロジェクト近況報告	・ムササビの生活・ムササビはプロジェクトの協力者
43	19	10	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回ムササビの日」が開催されました・千葉森林管理事務所との連携・森林生態系スペシャリスト養成研修の実施
44	19	11	赤谷プロジェクト近況報告	・企画運営会議の開催・日本イヌワシ研究会 合同調査への協力・地元小学生への環境教育
45	19	12	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷プロジェクトを支えるもう一つの力 サポーターの取組について・赤谷の森の自然散策について
46	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外研修「持続可能な森林経営の実践活動促進 研修」・パナマ国別研修「保護区管理」コース研修・「アマゾン群馬の森」JICA草の根技術協力事業研
47	20	2	赤谷プロジェクト近況報告	・なぜホンデテン?・ホンデテンのモニタリング調査
48	20	3	赤谷プロジェクト近況報告	・センサーカメラを活用した取組について・赤谷の森の自然散策(冬版)の開催について

号	年	月	掲載タイトル	内 容
49	20	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクト5年目の貼るが始まります・情報発信活動について(「赤谷の森だより」の発行・パンフレットの作成・マスメディアへの情報提供・HPの更新・「関東の森林から」の定期的な近況報告)
特集号	20	4	事例14-1～2 赤谷プロジェクト	・赤谷プロジェクトの紹介と千葉森林管理事務所との連携した環境教育の取組などを掲載
50	20	5	赤谷プロジェクト近況報告	・モリゾーとキッコロが「赤谷の森林」にやってきた・4月の「赤谷の日」
51	20	6	赤谷プロジェクト近況報告	・(独)森林総合研究所による植生調査・「コリドー現地検討会2008in赤谷」の開催
52	20	7	赤谷プロジェクト近況報告	・放送大学面接授業・千葉市中学生への環境教育の実施
53	20	8	赤谷プロジェクト近況報告	・森林ふれあい実務研修の実施・ほ乳類モニタリングWGの開催・南ヶ谷湿地の調査
54	20	9	赤谷プロジェクト近況報告	・環境教育関東ミーティングについて・「第3回ムタコの日」の開催
55	20	10	赤谷プロジェクト近況報告	・林野庁長官赤谷プロジェクト視察・森林生態系スペシャリスト養成研修
56	20	11	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外技術研修生の受け入れ・環境教育ワーキンググループ会議の開催・平成20年度 第1回企画運営会議の開催
57	20	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」で自然散策・地元小学生に森林環境教育
58	21	1	赤谷プロジェクト近況報告	・「環境教育・関東ミーティング2008・AKAYA」の開催
59	21	2	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」の炭焼き・千葉森林管理事務所との連携・自然環境モニタリング会議の開催
60	21	3	赤谷プロジェクト近況報告	・「モリゾー・キッコロ『森へ行こう!』」の撮影・「ニッセイ緑の環境講座」で赤谷プロジェクトの取組を講義・猛禽類モニタリングワーキングの開催
61	21	4	赤谷プロジェクト近況報告	・自然環境モニタリング会議・企画運営会議の開催・環境教育への取組(新治小での環境教育の実施・「赤谷の森」自然散策会の開催・新治中の総合学習への協力・高原千葉村自然教室指導者講習会の開催)
62	21	5	赤谷プロジェクト近況報告	・養成研修専攻科(第48期)へ講義・「赤谷の日」の活動
63	21	6	赤谷プロジェクト近況報告	・水生昆虫談話会メンバーの来訪・放送大学の面接授業・新治中学校総合学習への協力
64	21	7	赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市中学校への環境教育の実施・「赤谷の森自然散策」の開催
65	21	8	赤谷プロジェクト近況報告	・ムタコ沢の水源かん養機能について・高校生への森林環境教育・植生管理の指針づくり
66	21	9	赤谷プロジェクト近況報告	・レッツ! サマースクールでの森林環境教育・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67	21	10	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業現地取材について・府中市緑の活動推進委員研修会・水生昆虫観察会の開催
68	21	11	赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類調査について・自然環境モニタリング会議の開催・JICA海外研修生の受け入れ
69	21	12	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA国別研修・インド環境森林省・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催
70	22	1	赤谷プロジェクト近況報告	・南ヶ谷湿地の堆積物調査・企画運営会議の開催・「赤谷の森を語る会」の開催
71	22	2	赤谷プロジェクト近況報告	・1月の「赤谷の日」活動・植生管理ワーキンググループ
72	22	3	赤谷プロジェクト近況報告	・現代都市文化研究会の視察・「赤谷の森自然散策」を開催・環境教育ワーキンググループの取組
73	22	4	赤谷の森から	・地元小学校で環境教育・自然教室指導講習会を開催・第2回企画運営会議の開催
75	22	6	赤谷の森から	・4月の「赤谷の日」の活動・「ムタコの日」実行委員会の開催
77	22	8	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策を開催・地域の高校生への森林環境教育・植生管理ワーキンググループ現地検討会
79	22	10	赤谷の森から	・地域の小学生に森林環境教育・「ムタコの日」における森林整備活動
81	22	12	赤谷の森から	・森林生物多様性見学会・秋の自然散策
83	23	2	赤谷の森から	・ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き・環境教育WGプログラム作成に向け現地検討会を実施
85	23	4	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第1回(プロジェクトの発足)[生物多様性の復元と持続的な地域づくり・協働三者のプロジェクトへの期待]
88	23	7	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第2回(プロジェクトの仕組)[主な取組の紹介(自然林回復試験)]
91	23	10	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第3回(主な取組)[渓流環境の復元(治山ダム中央部撤去)・猛禽類のモニタリング・赤谷の日・サポーター・環境教育・視察]
94	24	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第4回(赤谷の森管理経営計画書)[計画作成当初より協定3者が参加・生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載・順応的管理について明記]
97	24	4	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第1回(自然林復元試験地)[これまでの試験でわかったこと・新しい伐採試験地]・赤谷の森自然散策の実施
100	24	7	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第2回(イヌワシとクマタカ)[風の精 イヌワシ・森の精 クマタカ]・赤谷の森自然散策の実施
103	24	10	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第3回(ホンドテン)[テンの視点で森を見る・ボランティアで調査・今までに分かったこと]・「環境教育研修講座」が赤谷の森で行われました
106	25	1	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第4回(渓流環境復元WGの取組)[渓流環境とは・渓流環境の調査・渓流環境の調査を行って]・ブラジルからのお客様

赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第4号～13号)

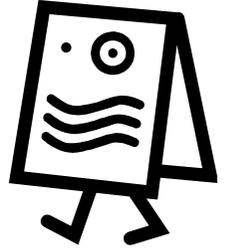
番号	表紙		コラム		赤谷プロジェクト紹介				赤谷プロジェクトに望むこと		
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	分類	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
4	赤谷の森の最高峰(仙ノ倉山)		晩秋の小出俣林道を歩く	林泉(地域協議会)	赤谷プロジェクト概要	赤P		赤セ	時間がないんだ 森林は…	岸 昌孝	NPO利根川上下流連携支援センター副事務局長
5	様々な歴史を刻む(小出俣エリア)		一本の木の生涯	中村隆史(赤セ)	大型猛禽類の調査を通じて	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	高等学校における環境教育	松井孝夫	群馬県立尾瀬高等学校自然環境課主任
6	ミズナラ、猛禽調査等		森を科学するとは	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷の森と植生管理の活動について	植生	亀山 章	赤谷プロジェクト自然再生モニタリング会議座長	アメリカ・カイバブ国有林におけるオオタカの研究と保全	遠藤孝一	日本オオタカネットワーク代表
7	冬の森林		五年目を迎える赤谷プロジェクト	岡村興太郎(地域協議会)	赤谷の森とホンドテン調査について	ほ乳類 テン	足立高行	応用生態技術研究所所長	求められている環境教育	春田 隆	群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科長教諭
8	下層に広葉樹が生育するカラマツ人工林		森林の取扱いの難しさ	藤江達之(関東森林管理局)	赤谷プロジェクト概要	赤P	茅野恒秀	日本自然保護協会			
9	炭窯・カヤ刈り		暮らしが物語る森と人間	茅野恒秀(日本自然保護協会)	AKAYAプロジェクトと環境教育	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 常勤理事			
10	雪景色		環境の時代における全国初の取り組み	河合明宣(地域協議会)	赤谷プロジェクトと地域づくり - 旧三国街道の活用を通じて -	地域づくり	茅野恒秀・土屋俊幸	日本自然保護協会・自然環境モニタリング会議委員会			
11	新治小遠足		持続的な地域づくりに取り組んでいます	林 泉(地域協議会)	赤谷の森の溪流環境	溪流環境	相原慎二	赤セ	里山と人との関わりのこれからをみつめて	深津 加津枝	京都大学 准教授
12	仙ノ倉下から赤谷を望む		三国街道でお宝探し	田中直哉(赤セ)	プロジェクトが発足してからわかったこと(赤谷の森のイヌワシ・クマタカ)	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	次世代を育む活動の必要性	利根川 太郎	みなかみ町立新治小学校長
13	茂倉沢治山ダム・ムタコの日・ムタコ沢水質調査		ともに共に歩むことの大切さ	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて	森林計画		関東森林管理局計画課	体験型環境教育との出会い	岡田千穂	みなかみ町立新治中学校教諭

赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第14号～22号)

番号	表紙		赤谷の森写真館		赤谷の森でわかったこと				赤谷プロジェクトに望むこと			テーマ	執筆者	所属等	
	テーマ	撮影者	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等				
14	クロサンショウウオ	竹村秀雄 星野理恵子	ブナ・モリアオガエル等	茅野恒秀 竹村秀雄 林 武 川端白人	木材、薪、炭、肥料・・・ 生活を支えていた赤谷の森	地域づくり	茅野恒秀	岩手県立大学 総合政策学部 講師	赤谷プロジェクトに望むこと	西田真哉	トヨタ白川郷自然学校 校長	サポーター活動の紹介			
15	ムタコの日	安田剛士	立ち枯れたブナ・オコジョ等	茅野恒秀 出島誠一 竹村秀雄 前田 修	センサーカメラとテンモ二隊の活躍	ほ乳類 テン	足立高行	応用生態技術 研究所 所長	赤谷プロジェクトに望むこと	藤江達之	森林総合研 究所				
16	ニホンカモシカ	青木邦夫	オオカメノキの冬芽・ウサギの足跡等	茅野恒秀 竹村秀雄 星野理恵子 小鮎 守 平井希一	自然の森の姿	植生	龜山 章	自然環境モニタリング会議 座長	赤谷プロジェクトに望むこと	江戸家猫八	動物ものまね 演芸家				
17	熊の親子		初夏の三国は、ツツジ街道	竹村秀雄 川端白人	新たな森づくり、スタート！ 「赤谷の森管理経営計	森林計 画		関東森林管理 局計画課	赤谷プロジェクトに望むこと	清水英毅	森林塾青水 塾長	活動の紹 介	藤田 卓	サポーター	
18	ムタコの日		美しいチョウたち	小林茂男 出島誠一 前田 修 藤田 卓	人工林を自然に戻してみようという試み	植生	塚田夢人	東京農工大学 森林生態学研 究室OB	自然は素晴ら しい資源	施井真希子	みなかみ町 観光協会	ホンドテ ンモニタ リング調 査	青木邦夫	サポーター	
19	初冬の三国山		「赤谷の森、樹木たちは今！」	平井希一 赤セ 和田晴美 福田耕二 竹村秀雄 小鮎 守	姉妹プロジェクト「綾の照葉樹林プロジェクト」について	その他	土屋俊幸	自然環境モニタリング会議 委員会	赤谷プロジェクトに望むこと	岸 良昌	みなかみ町	豊凶調査	豊凶調査 チーム	サポーター	
20	ブナの実生	竹村秀雄	「ハイキングコースで可憐な草花と出会う！」	越尾 武	「赤谷の森のコウモリ」	ほ乳類 コウモリ	三笠暁子	コウモリの会 事務局	赤谷プロジェクトに望むこと	河合明宣	地域協議会	南ヶ谷湿地	竹村秀雄 和田晴美 前田 修	サポーター	
21	樹液を吸うカブトムシ	赤セ	カブトムシ採りの思い出	画像：赤セ 文：小池俊弘	スギの人工林を”自然に戻す”実験を始めました	植生	藤田 卓	日本自然保護 協会	人と自然が共生できる環境へ	阿部政英	高原千葉村	成功したヤマビル対策	坂口・星野	サポーター	
22	春を待つフキノトウ	松田大介	三国山・平標山の花々	林ふさ子	ニホンザルを調べてみたら	ほ乳類 サル	安田 剛士	地域協議会	「畏敬の念と感謝」	小林友子	新治小学校 六年担任	オオムラサキの幼虫探し	前田 修 小林茂男 小鮎 守	サポーター	

平成24年度赤谷センターポスター等デザイン集

使用頻度の高いポスターです。



動物の素顔をとらえる センサーカメラ

AKAYA PROJECT

三国山系の国有林で行われている「赤谷プロジェクト」

標高差1,400m、約1万ヘクタルの「赤谷の森」を 舞台にした新時代の森林生態系管理！

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域・自然保護団体・国有林管理者という立場の異なる三者がともに活動するという、全国的にもめずらしい取り組みです。

活動地域は、旧新治村三国山脈に広がる、約1万ha(10㎢四方)の国有林ほぼ中央に赤谷川が流れることか。

「赤谷の森」と呼んでいます。植物や生きものの調査・研究、環境教育、研修の受け入れなど、活動はさまざま。毎月第一土・日曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

赤谷プロジェクトの仕組み

平成16年3月、プロジェクト推進に関する協定が締結されました。この協定に基づき、全ての赤谷プロジェクトの取り組みは、中核3団体で構成する「企画運営会議」で企画・検討・決定します。

赤谷プロジェクト推進協議会
〒378-0016 群馬県田代町戸原野町628-1-6
アズナビル5階501号
TEL: 0278-22-2119 FAX: 0278-22-2192
Mail: smish@green.oon.ne.jp

赤谷プロジェクトお問い合わせ先
赤谷プロジェクト地域協議会
〒378-0016 群馬県田代町市野治町3923-1
アズナビル5階501号
TEL: 0278-60-1272 FAX: 0278-24-9562
Mail: akaya.postmaster@nrya.matt.co.jp

赤谷プロジェクト推進協議会
赤谷森林管理協議会
〒104-0033 東京都中央区新1丁目6-10 3F
TEL: 03-253-4101(代表) FAX: 03-253-0531
Mail: akaya@nacs.or.jp

自然環境モニタリング会議
アカリグループ・アカリグループ・アカリグループ
アカリグループ・アカリグループ・アカリグループ

赤谷プロジェクト推進協議会
赤谷森林管理協議会
赤谷プロジェクト推進協議会
赤谷森林管理協議会
赤谷プロジェクト推進協議会
赤谷森林管理協議会

AKAYA PROJECT

標高差1400m、約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、新時代の森林生態系管理。

「赤谷の日」における毎回の調査や研修による生物多様性復元に期待を込めて！

「あべき姿」の復元のために。生物多様性復元のための総合的なアクションです。

豊かな深層環境をめざして

動物たちの暮らしを

環境教育を進めます

多様な森林をめざして

地域と森林との「新しい関わり方」を探ります

プロシカキと並ぶ新しいサポーター

野営フィールドとして活用

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

守っている
人がいる

ノスリ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nnpccj.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

生まれてくれて
ありがとう
赤谷の森

ホンドキツネの子

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nnpccj.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

知らなかった
ことはありまよんか

ホンドリス

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

ほら
探してたあ!

ホンドイタビ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

豊かな自然に
ありがとう

ノスリ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

生物多様性の
復元を目指して

ヤマブキ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

守っている
人がいる

ノスリ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

生まれてくれて
ありがとう

ホンドキツネの子

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYA PROJECT



赤谷プロジェクト

涼やかに
赤谷の森

ヤマブキ

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

標高差1400m、
約1万ヘクタールの広大な国有林「赤谷の森」を舞台にした、
新時代の森林生態系管理。

赤谷プロジェクト地域協議会 代表幹事 林 浩 TEL.0278-66-0888 事務局 安田 剛士 TEL.0278-22-2119 http://f01g.livedoor.jp/members/akaya/	財日本自然保護協会 プロジェクト担当 山島 誠一 TEL.03-3553-4107 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya@nnpccj.or.jp	林野庁関東森林管理課 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 所長 坂崎 潤 TEL.0278-60-1272 http://www.nippon.or.jp/akaya/index.html 〒477-13 akaya_postmaster@nnpccj.or.jp
---	--	---

AKAYAプロジェクト 活動報告会開催のお知らせ

「赤谷の森」の
今と未来を考える！

「赤谷の森の望ましい将来像」を策定するため、地域の皆様の赤谷の森に期待することについて意見をお聞かせください。また、赤谷プロジェクトの8年間の成果及び取組についてもご報告します。

基調講演等を用意しておりますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催日 平成25年1月27日(日) 13:00~16:30
場所 群馬県みなかみ町新治支所講義室(3階)
参加費 無料(事前申し込み不要)

時間	実施内容	担当
13:00-13:10	開会挨拶	地域協議委員会 岡村典太郎
13:10-13:50	第一部 「赤谷の森」の現状を知ろう ① 講演 「ムツツシカが「赤谷の森」で抱えたどうなるのか?」先達理事からの現状と展望 ② 森プロジェクトの活動紹介 (水獺の森を知り守る活動(ムタゴの目)、猛鳥期調査など)	赤谷農工大学 教授 龍光一 地域協議会及び赤谷 サポーターなど
14:50-15:00	<休憩>	
15:00-15:15	第二部 「赤谷の森」の未来を考えよう ① 基調講演「地域の未来の展望」プロジェクトの活動成果を赤谷の森の取組に活かす仕組から	同会 東京農工大学 教授 土屋裕幸
15:00-16:30	② 意見交換会～「赤谷の森」上期待すること～	

主催：赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、財団法人日本自然保護協会
 問合せ先：みなかみ町環境課環境政策グループ(小池) TEL:0278-252-6008
 林野庁赤谷森林環境保全ふれあいセンター(保田・石坂) TEL:0278-60-1272
 財団法人日本自然保護協会(担当:黒田・出島) TEL:03-3553-4107 Email:akaya@nnp.or.jp

「赤谷の森」自然散策

開催日:平成24年10月28日(日)小雨決行!

新緑に染まった山々の絶景! 茶室まで小動物等の遺跡などを探しながら、アップダウンの少ないながらな海老原の風景を眺め、専用のガイドにより約4km(高低差300m)の森の自然を満喫します。

また、群馬県北部、群馬県境に広がる170ha(約10km四方)の過剰「赤谷の森」を舞台にした生物多様性の保全等の取組(赤谷プロジェクト)についてもご紹介させていただきます。

開催場所 群馬県みなかみ町川古温泉周辺 「小出候林道」

1 集合解散場所の時間等
 (1)集合 ①関東森林管理局(前橋市):9時出発→②利根田森林管理署(沼田市):9時50分出発
 (2)解散 ①利根田森林管理署(沼田市):16時0分到着→②関東森林管理局(前橋市):17時到着
 (※この行程がメイン。東奥地区の移動はマイカーで行います。)

2 参加定員・費 定員 20名(小学生以上)(小学生は保護者同伴)
 3 参加費及び集金等 無料 平成24年10月19日(金)17時まで
 4 申し込み方法
 氏名、年齢、住所、電話番号及び希望する集合場所(①か②)を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントサイトをご覧ください。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

5 注意事項
 服装は、自然散策ができるような服装(長袖、帽子、長靴、雨具)としてください。小雨決行、荒天時は中止します。昼食、飲み物は各自持参ください。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

主催:林野庁 関東森林管理局
 赤谷森林環境保全ふれあいセンター
 ◎問合せ先 群馬県沼田市総合支所3921-1
 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 担当:石坂・栗田
 電話:0278(60)1272 FAX:0278(60)5562
 メール:akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

「赤谷の森」自然散策

開催日:平成25年2月17日(日)小雨決行!

森林土壌の第一人者、ミスター・森林土壌! 長島成和さん(約30年間、森林土壌のプロフェッショナルとして活躍)の指導のもと、数種種の樹木の冬芽をルーペで見たり、カッターで切ったり、匂いを嗅いだりしながらその特徴をつかみ、落葉期の樹木の見分けたを学ぶことができます。

講義の後は、いせ町の村道にて、スノーシューを履き森の中を歩上でのアニマルウォッチング&冬芽の観察を行います。どんな発見があるのか! サブライズを期待しましょう。

1 集合解散場所の時間等(群馬県境から沼田行が出来ます!)

(1)集合 ①関東森林管理局(前橋市):9時出発→②利根田森林管理署(沼田市):9時50分出発
 ※ 沼田駅へ入られる方は10:30までに沼田駅構内の「赤谷」バス停(沼田駅南口)へ来てください。
 ※ 群馬県利根田みなかみ町(沼田) TEL:0278-252-3340

(2)解散 ①利根田森林管理署(沼田市):16時10分到着→②関東森林管理局(前橋市):17時到着
 ※ 集合・解散場所とバス乗降場所の移動はマイカーで行います。

2 募集人員 30名(小学生以上)(小学生は保護者同伴)
 3 参加費及び集金等 500円(保険及び資料代17円) 平成25年2月8日(金)17時まで
 4 注意事項
 服装は、自然散策ができるような服装(防寒着、帽子、長靴、雨具等)としてください。小雨決行、荒天時は中止します。昼食、飲み物は各自持参ください。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

◎申し込み方法 住所、電話番号及び希望する集合場所(①か②)を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントサイトをご覧ください。(先着順申し込みです)

主催:林野庁 関東森林管理局
 赤谷森林環境保全ふれあいセンター
 ◎問合せ先 群馬県沼田市総合支所3921-1
 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 担当:石坂・栗田
 電話:0278(60)1272 FAX:0278(60)5562
 メール:akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

「赤谷プロジェクト」を知ろう!

多くの里に赤谷プロジェクト情報発信ブースが設置されます。

オープン記念イベント

記念イベント:平成24年11月20日(土)11:30~

「赤谷プロジェクト」を知ろう!

開催場所:群馬県みなかみ町新治支所講義室(3階)

開催日時:平成24年11月20日(土)11:30~

参加費:無料

お問い合わせ先:赤谷森林環境保全ふれあいセンター(保田・石坂) TEL:0278-60-1272

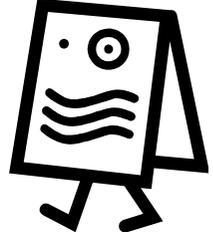
主催:赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、財団法人日本自然保護協会

全40種類 カードラインナップ

赤谷の森、野生動物カード

赤谷の森、野生動物カード

イベント時の募集案内用のポスター等として作成。
 また、道の駅たくみの里赤谷プロジェクトPRブース運営の
 パネルとして、また、ブログや赤谷カードなどの既存の資料
 もパネルにし活用しました。



赤谷森林環境保全ふれあいセンター「赤谷の森」より み〜つけた! 5名鑑賞コンプリートズ

赤谷の森で発見された5種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された5種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された5種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

10 赤谷の森

赤谷の森で発見された10種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された10種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された10種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森、野生動物カード

赤谷の森で発見された40種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された40種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

赤谷の森で発見された40種類の生物を写真とイラストで紹介しています。

横断幕等のデザイン



平成 24 年度に作成した横断幕等は、イベント時のレイアウトなどに活用しています。

生物多様性復元に向けた取り組み

赤谷プロジェクト

赤谷プロジェクト地域協議会(財)日本自然保護協会
林野庁関東森林管理局赤谷森林環境保全センター

AKAYA PROJECT

登りのデザイン

赤谷プロジェクト歴史年表

- S24年 上信越高原国立公園に指定。
- S34年 川古温泉より約4km下流に相俣ダム(赤谷湖)完成
- S54年 月夜野営林署が廃止され、沼田営林署に統合される
- S58年 新治村議会「三国山系開発促進計画」を採択
- S63年 三国山系が林野庁前橋営林局によって「ヒューマン・グリーン・プラン」の候補地に選定。国土計画(株)により「猿ヶ京スキー場(仮称)」が計画される
- H02年 「新治村の自然を守る会」結成。新治村と村議会に猿ヶ京スキー場(仮称)の白紙撤回を求める要望書」を提出。
- H03年 日本自然保護協会・「守る会」、猿ヶ京スキー場計画地一帯を視察
- H05年 日本自然保護協会、林野庁前橋営林局に意見書を提出
- H11年 日本自然保護協会・「守る会」は、報告書『イヌワシ・クマタカの子育てが続く自然を守る - 群馬県新治村・三国山系大型猛禽類生息状況報告』を発行
- H12年 コクド、「猿ヶ京スキー場」計画中止を表明
- H12年 建設省関東地方建設局、「事業評価監視委員会」において川古ダム計画中止を決定
- H13年 林野庁関東森林管理局、「緑の回廊 三国線」を設定
- H15年 「(仮称)赤谷プロジェクト」第1回準備会議
- H15年 「赤谷プロジェクト地域協議会」発足。第1回地域説明会開催
- H16年 林野庁関東森林管理局長・日本自然保護協会理事長との2者による、「三国山地 / 赤谷川・生物多様性復元計画推進のための協定」を締結(H16年3月)**
- H16年 林野庁 関東森林管理局 赤谷森林環境保全ふれあいセンター開設
- H16年 「赤谷プロジェクト自然環境モニタリング会議」を設置
- H16年 小出俣エリアに自然林復元試験地(スギ間伐)第1号を設置
- H17年 月夜野町・水上町・新治村が合併して「みなかみ町」が誕生
- H17年 赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目
- H17年 「新治地区茂倉沢治山事業全体計画策定調査委員会」を設置
- H18年 カラマツ漸伐自然再生試験地の設定
- H19年 調査委員会が茂倉沢で通称「2号治山ダム」の一部撤去を決定
- H19年 皆伐自然再生試験地の設定
- H20年 「環境教育・関東ミーティング2008 AKAYA」を開催
- H21年 通称「2号治山ダム」の一部撤去工事完了
- H22年 赤谷の森基本構想を地域住民、NGO、国の三者が協働で策定
- H23年 「赤谷の森管理経営計画」を策定(H23年3月)
- H23年 林野庁関東森林管理局長・日本自然保護協会理事長・赤谷プロジェクト地域協議会長との3者による、第2期「三国山地 / 赤谷川・生物多様性復元計画推進のための協定」を締結(H23年4月)**
- H23年 スギ漸伐自然再生試験地の設定
- H23年 「南ヶ谷湿地保全計画2011」を策定
- H24年 道の駅「たくみの里」に「赤谷プロジェクトPRブース」設置

平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター活動報告

発行：農林水産省 林野庁

関東森林管理局 赤谷森林環境保全ふれあいセンター

〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町3923-1（利根沼田森林管理署内）

電話：0278-60-1272 FAX：0278-24-5562

E-mail: akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html

「平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター活動報告」の電子データ(PDF版)は、当センターホームページよりダウンロードできます。